

愛してやまない

私の地元

私の住んでる街は西武新宿線野方駅になります。厳密には野方駅と都立家政駅の間に家はあるのですが・・・今回は野方の街をご紹介します。

1)BOOKOFF

よく行く店の一つ目は、BOOKOFF 中野野方店です。私は何よりも漫画が好きですので、暇さえあれば足を運んでいます。野方の BOOKOFF の特徴は、100 円コーナーが豊富なところ。今まで 100 円コーナーで購入したものは、「ARMS」「BLEACH」「PLUTO」「ギャラリーフェイク」「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」等々数えきれません。幅広いジャンルの漫画が 100 円で買えるので、ついつい新しいものに手を出し、ハマり、そして全巻コンプリートというサイクルになってしまっています。買った本を家でゆっくり読むことで、良い気分転換になっているので、欠かせない習慣です。

2)味噌麺処 花道

ラーメン屋の「味噌麺処 花道」です。ここは、以前カップラーメンにもなったお店です。

今日の地元

中野区野方

執筆：システムソリューション事業部
岡部 将宏

私のお勧めは味噌ラーメンに味付玉子をトッピングです。濃厚なスープにシャキシャキの野菜&しっかり味が染み込んだ玉子と麺が絡みつくとハーモニーは、まさに「宝石箱やあ〜」もしくは「味の IT 革命やあ〜」と言いそうになります。野方へお越しの際はぜひお立ち寄りください。

3)Book Trade Cafe「どうひん」

最後は、最近オープンした Book Trade Cafe「どうひん」がお勧めです。ここは少々変わったシステムで、自分の家にあるハードカバーの本を持っていくとお店の本と交換でき、その本を読み終えたらまた交換できます。色々な本がお店に集まり、交換していくという今まで体験したことがないシステムで非常に興味深い。またお店自体木材を基調とした家具が多く落ち着く空間でついつい長居してしまいます。コーヒーもおいしいので、休日リラックスしたいときは活用させてもらってます。

他にも、ここには書ききれない程、良いところがたくさんある街ですので、皆さんも近くにきた時は野方駅を散策してみてください。



▲ BOOKOFF 中野野方店



▲ 味噌麺処 花道



▲ Book Trade Cafe「どうひん」

The
集客

EC サイト運営の鍵



執筆：WEB コンサルティング部
村上 宜久

アイロベックス通信は
弊社 HP 上からもダウンロード頂けます。
最新号、バックナンバーも掲載中です。

URL→<http://www.ilovex.co.jp/info/newsletter/>

アイロベックスのソーシャルメディア

Twitter→http://twitter.com/ilovex_official

Facebook→<http://www.facebook.com/ilovex.co.jp>

編集後記



不安定な天気が続きますが、いよいよ夏本番ですね。アイロベックスから徒歩 5 分の場所にビックカメラ新宿東口新店がオープンしました。ビックカメラ最大の売り場面積だそうで、開店日は朝から大行列！TV カメラも取材に来ていましたので、もしかしたらニュースに私が映っていたかもしれません。

WEB コンサル部 yamada

ilovex Magazine

http://www.ilovex.co.jp/ TEL : 03-3232-2525 / FAX : 03-3232-2520

企画・制作発行 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-5 ラウンドクロクロス新宿5丁目3F

ilovex MAGAZINE 通信

アイロベックスが月1でお届けしている広報誌

07
July .2012
Vol.82

調査しました！

社員人気 iPhone アプリランキング☆

社長のひとこと

Google ドキュメントでバグ発見

愛してやまない私の地元

中野区野方をご紹介します！



代表取締役社長 杉山 淳子とエンジニア西横

Google ドキュメントは、とても便利なものです。100 人くらいでスプレッドシート (EXCEL のようなもの) を共有して同時に編集できるのです。

同時に編集していると、セルの枠の色が変わって誰かが入力しているのが見えて面白いですよ。編集できる人は数人に決めて、閲覧するだけの URL を別に作って見せるだけでもできる。本当に便利です！

このところ、何かと Google ドキュメントを使って情報共有しているのですが、実は、障害 (バグ) に当たりました。ちょっと凝って、セルを結合したり、行固定をしたり複雑なものを作ったからでしょうか。編集用のスプレッドシートに問題は無かったのですが、閲覧用の URL を作ってメールで配信すると、数字がずれているという苦情が寄せられました。

もちろん大事な数字がズレていては、大問題なので閲覧中止。困りました。こういうときにフリー (無料) のものは問い合わせる先がありません。

しかし、当社の素晴らしいエンジニアの西横が原因を見つけてくれました。

行固定の最後の行に結合セルが存在するとずれるということが分かったのです。多少、見かけはグサイかもしれないですが、セル結合を止めて問題は解決しました。ホッと一安心。

しかし、いろいろなツールを信じすぎてもいけませんね。そしてフリーなものを使う場合には自己責任を問われますね。

EC サイト - システムとの連携

執筆：中津川 輝

小売業において「在庫」は売上を左右する大事な概念です。

在庫があまれば、売上は上がりません。在庫以上に商品を売ってしまった場合は、クレームになり、結果として顧客が離れていってしまいます。EC サイトの成功を握るのも、この「在庫」、つまり在庫処理だといっても過言ではありません。

実店舗で物販をしていれば、商品が売れば、実際の商品が減っていき、最後には商品がなくなります。だから、それ以上商品が売れることはありません。一方で、EC サイトでは、在庫は「在庫数」という数字で持ちます。

EC サイトで商品が売れば、EC システムに登録してある在庫数が減っていき、最後には在庫数がゼロとなります。在庫数がゼロとなれば、それ以上商品が売れることはありません。では、在庫数がゼロになったからといって、本当に商品がなくなったのかといえば、答えは否です。

つまり、商品は手元に残っている可能性が高いのです。例えば、代引での受け取り拒否があり商品が戻ってきてしまったとか、お客さまから返品があった際の予備在庫として確保しておいたとか、作業ミスで実際の在庫数よりも EC サイトへの在庫登録は少なくしていたとか。

特に、EC 事業においては、実際の在庫数よりも少ない数を登録しておくことがよくあります (特に生鮮食品など)。これは、EC で売れた商品に関しては、実店舗で売れた商品よりも返品率が高いことに起因しています。

こういった業務上のリスクを担保するため、通常の「在庫 (実在庫)」と分けて、「EC 在庫」という概念を持つことがあります。「実在庫」と「EC 在庫」を分けて持つことで、販売機会を逃してしまう場合が多々あります。

例えば、セール時期。深夜 0 時からセールが始まり、翌朝には EC 在庫がゼロになってしまっているといったことはよくあります。しかし、店舗にはお店で販売するための在庫が残っている。しかも結果、なぜか店舗では売れ残ってしまった。もし、EC 在庫がゼロになっても商品を売っていれば売れたかもしれません。こういった、実在庫と EC 在庫とのズレによって、売上が大きく変わってきてしまいます。

さらに、自社の EC サイトだけでなく、楽天市場、Yahoo! ショッピング、amazon、ビッダーズなど、モールに出店するためには、モール毎に在庫に登録する必要があります。モールに出店すればするほど、EC 在庫の中で、在庫管理が別れていってしまうのです。その上、実店舗を営んでいる場合は、店舗毎に在庫を管理する「店舗別在庫」という概念が登場します。倉庫が全国に点在している会社の場合では、「倉庫別在庫」という概念が登場します。

こうして、「在庫」という概念が複数存在することになるのです。

さて、以上の様な複雑な概念を管理することは、人間のアナログ作業では限界がありまし、途方も無い時間が奪われていくだけです。

「実在庫」=「店舗在庫」=「EC 在庫」という公式を描くためには、システムの力が必要不可欠です。



システムで、在庫の一括管理！



社員人気 iPhone アプリランキング

執筆：高田 早矢香

2008 年 7 月 11 日に初めて日本で iPhone が発売された時に比べ、現在は実にさまざまなアプリが登場しています。スマートフォンは従来までの携帯とは違い、数あるアプリの中から自分に合ったアプリを選び、カスタマイズできることが魅力です。

そこで今回は、アイロベックス社員の iPhone ユーザーにどのようなアプリを使っているのかを部門別にランキング形式で集計しました。



▲ 様々なアプリが揃う App Store



ビジネス部門ランキング

1 位 Evernote

2 位 Gmail

3 位 産経新聞

ビジネス部門では Evernote が 1 位という結果となりました。やはりどのような場でも素早く、かつ手軽にメモができるツールとして活用している方が多いようです。動画や写真なども残しておけることで、従来の携帯メモという枠がさらに広がります。

また、iPhone とパソコンのどちらからでも、常に同じ画面を閲覧・編集できる点も大きな魅力となっています。



便利部門ランキング

1 位 Skype

1 位 乗換案内

3 位 radiko.jp

1 位は同率で Skype と乗換案内という結果となりました。Skype も乗換案内も、著者自身アプリとして活用しており納得のできる結果でした。個人的には 3 位の「radiko.jp」のランクインが目にとまりました。昨年の震災の影響もあってか、やはり情報収集のためのツールをアプリとして取り入れる方が増えたようです。

ちなみにランク外となりましたが、災害対策として懐中電灯のアプリも導入しておけば、いざという時も安心です。

SNS 部門ランキング

1 位 Facebook

2 位 Twitter

3 位 Chatter

Facebook と Twitter はもはや説明不要の SNS の代表ツールですね。やはり使っている方も多いです。

3 位にアイロベックスでも開発を行なっている salesforce の関連アプリ Chatter がランクインしました。理由は、アイロベックスが社内 SNS ツールとして Chatter を導入しているからでしょう。発言だけでなくファイル等も共有することができるところが便利なので私も活用しています。

アプリを活用している人ランキング

1 位 システムソリューション事業部 中村 千穂

1 位 Web コンサルティング部 山田 美穂

3 位 代表取締役 杉山 淳子

最多の中村と山田は、調査したただけでも総数 48 ものアプリを導入しているとのことでした。ちなみに私、高田はアプリの数は 24 と、1 位とは実に 2 倍もの差が浮き彫りとなりました。

ランキング上位の者が導入しているアプリを見ると、特別なアプリを入れているというよりも常に広範囲で情報を集めているという印象を受けました。自分に合う合わないを知るためにはやはり自分が使用した中で、一番良いものをカスタマイズしていきたいですね。

今回は社内の iPhone ユーザーに限定して集計したランキングでしたが、周囲の人達とオススメのアプリを教え合うことで、新しい発見があるかもしれませんね。今後多くのアプリが登場してくることが予想されますが、その都度自分に合ったツールを探し活用していくことができれば、より効率的に物事を進めていけるのではないのでしょうか。その際は今回のランキングも参考にして頂けると幸いです。